

# 第188回「河川文化を語る会」のご案内

## 講演 **新美南吉童話に描かれた里山** **～知多半島の森・川・溜池を中心に～**



とおやま こうじ  
講師 **遠山 光嗣 氏**  
(新美南吉記念館 学芸員)

童話「ごんぎつね」の作者として知られる児童文学者、新美南吉(1913～1943)は、愛知県の知多半島に生まれ育ちました。伊勢湾と三河湾に挟まれた知多半島は、大部分が標高数十mの低い丘陵に覆われ、小河川が複雑に谷を刻む地形をしています。森、川、溜池、水田がセットになった谷地は、知多半島を代表する里山環境であり、多様な生物が生息すると同時に、人々の暮らしを支える場でもありました。故郷を舞台に庶民の暮らしの中から物語を紡いだ新美南吉の作品には、そうしたかつての知多半島の自然と人々との関わりが実によく描かれています。「ごんぎつね」をはじめとする様々な作品を通して、知多半島の里山の特徴に触れるとともに、現代にいたる変化の歴史もご紹介します。

### 【講師略歴】

1971年、愛知県半田市に生まれる。龍谷大学文学部史学科卒。  
1994年から新美南吉記念館の学芸員として、新美南吉に関する調査研究及び特別展や講座などの運営にあたる。COP10が名古屋市で開かれた2010年には、特別展「帰ってきたごんぎつね～知多の自然と南吉文学～」を担当する。最近の仕事としては、全国巡回展「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界」の監修、図録「生誕百年 新美南吉」の執筆編集などがある。日本児童文学学会会員。

- 開催日時 平成28年3月6日(日) 14:30～16:30
- 開催場所 TKPガーデンシティ名古屋新幹線口 8F「カンファレンスホール 8A」  
(名古屋市中村区椿町1-16 TEL:052-238-3526)
- 交通 JR名古屋駅 太閤通口 徒歩1分  
近鉄名古屋駅, 名鉄名古屋駅, 市営地下鉄名古屋駅 徒歩5分
- 参加費 無料
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)  
公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当:高木, 佐藤  
TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp
- 申込締切 定員(150名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催:  公益社団法人 日本河川協会 共催: 愛知・川の会  
後援: 国土交通省中部地方整備局, 愛知県, 安城市, 安城市教育委員会  
当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。   
(認定番号: JSCE16-0056, 単位数: 2.0単位)

(切り取らずにこのままFAXしてください)



日本河川協会 行

FAX: 03-3288-2426

### 第188回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな  
氏名 二種正会員(個人会員)・一般・学生 (いずれかを○で囲んでください)

勤務先(記入は任意)

※職種(いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL ( ) FAX ( )

(※ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます)



Our Life, with River  
**河川整備基金**

当講演会は、公益財団法人河川財団による  
河川整備基金の助成を受けています。